

2018 年度大学入試センター試験 解説〈地理B〉

第1問 世界の自然環境と自然災害

問1 正解は②

4 地点の地形的特徴に関する説明文の正誤を判定する。各地点の基本的な情報から判断できる。

②は適当でない。Bは南アフリカ共和国のドラケンスバーグ山脈だが、古期造山帯にあたるため、現在の火山活動はみられない。

①は適当。Aのパリ盆地（フランス）にみられるケスタとは、硬軟の互層が選択的に侵食された非対称の丘陵である。

③は適当。Cのデカン高原（インド）は玄武岩の溶岩台地であり、岩石の風化によって黒色土壌のレグールが分布する。

④は適当。Dのアンデス山脈南部（チリ・アルゼンチン）にカールなどの氷食地形がみられる。太平洋岸にはU字谷が沈水したフィヨルドが発達している。

問2 正解は⑥

3つの湖と資料の組み合わせを判定する。

死海（イスラエル・[パレスチナ]・ヨルダン）はウ。死海は、紅海とともにアフリカ大地溝帯の延長上に位置する地溝湖である。そのため、陸上で最も低い位置にある湖であり、水深も極めて深い。周囲の乾燥気候のために塩分濃度が著しく高く生物が住めないことが「死海」という呼称の由来ともなっている。

パトス湖（ブラジル）はイ。砂州によって海域の一部が区切られてできた潟湖（ラグーン）であり、湖面標高は海面にほぼ等しい。この湖の名前を知っておく必要はなく、他の2つの湖のデータを先に判定して、消去法的に選ぶことになる。

レマン湖（スイス・フランス）はア。両国の自然的国境となっている。アルプス地方の氷河地形をもとに生じた湖であり、湖面の標高はやや高い。

問3 正解は④

凡例Fはウクライナからカザフスタン・ロシアにかけて広がる成帯土壌で、黒土チェルノーゼムの分布域であり、その説明として適当な文は④である。チェルノーゼムは、ロシア語で「黒い土」を意味し、半乾燥の気候下に分布する豊富な草原の腐植を含む土壌であり、肥沃な穀倉地帯を形成している。北アメリカのプレーリー土や、アルゼ

ンチンのパンパ土と類似している。

- ①は、ブラジル高原の間帯土壌 テラローシャの説明である。
- ②は、地中海沿岸の間帯土壌 テラロッサの説明である。
- ③は、冷帯（亜寒帯）に分布する成帯土壌 ポドゾルの説明である。

問4 正解は①

アンデス山脈中部における標高別の植生に関する説明文の正誤を判定する。

- ①適当でない。東側（＝アマゾン側）斜面はサバナ気候の分布する熱帯林である。サバナ気候は冬の乾季と夏の雨季が明瞭に分かれる気候であり、冬季には豊富な降水がない。
- ②適当。高山地帯は標高の影響で寒冷で、降水量が少ないため高山草地在り広がる。
- ③適当。ほどほどに温和で湿潤なため、低木林地帯となっているが、実際には耕作がさかんな高度帯であり、森林が失われているところも多い。
- ④適当。沖合の寒流ペルー海流の影響で冷やされた大気が安定する（上昇気流を作らない）ことで、海岸砂漠が形成されている。

問5 正解は④

サヘル砂漠化に関する説明文の正誤を判定する。砂漠化の要因を理解していれば、きわめて平易な問題である。

- ④適当でない。人口の急増と貧困を背景にした過耕作や過放牧は、サヘルの広い範囲で植生の回復を阻んで、砂漠化の進行を促進している。
- ①適当。サヘル雨季は6～8月の短い期間であり、年降水量は100～600mm程度に過ぎない。そのため、前線や低気圧の通り道の変化などで、年による変動が大きい。
- ②適当。砂漠化は、干ばつのような自然的要因に人為的要因が重なって進行する。
- ③適当。環境難民とは、砂漠化などの環境破壊で生活基盤を奪われて、やむをえず居住地を離れた人々のことである。

問6 正解は④

エルニーニョ現象の説明文中の空欄補充について、適語の組み合わせを選択する。現象そのものの知識がなくても、恒常風についての基本的な理解と、与えられた資料の読み取りで対処できる。

空欄カは「貿易風」。中緯度高圧帯から吹き出す恒常風のうち、低緯度側に吹く東風を貿易風という。貿易風は、太平洋東部の赤道付近で温められた海水を西部に吹送しているが、エルニーニョ現象が生じるとこの働きが弱まり、東部の海水温が上昇する。

空欄キは「洪水」。図3によると、エルニーニョ現象の発生時には、南アメリカ北西部から太平洋中部にかけては「高温・多雨」、北アメリカ南部は「低温・多雨」となる。両者に共通する「多雨」がもたらす自然災害は洪水である。

第2問 資源と産業

問1 正解は③

スマートフォンに用いられる資源や技術の世界的な分布について、統計地図の組み合わせを判定する。ボーキサイトの判別ができれば、リチウムは消去法的に決まるだろう。

国際特許出願件数はイ。製造業に用いられる知的財産権の多くは日米欧の先進国が独占しており、とくにアメリカ合衆国の占有度は高い。

ボーキサイトの生産量はア。ボーキサイトは、熱帯土壌のラトソルが分布する地域に多く存在しており、生産上位国にはブラジル・インドネシア・ジャマイカ・ギニアなど熱帯の国々が含まれる。また、世界最大の産地であるウェイパも、オーストラリア北部のサバナ気候区に位置する。

リチウムの生産量はウ。リチウムはアンデス山脈周辺などに偏在しているが、とくに蒸発量の多い乾燥した地域の塩湖などに埋蔵量が多い。ボリビアのウユニ塩原は世界最大級の埋蔵量をもつが、開発は遅れている。実際の産出国としては、オーストラリアやチリが上位で、2カ国で世界生産量の8割近くを占める。

問2 正解は④

九州地方における半導体生産工場の分布に関する説明文の空欄補充について、適語の組み合わせを選択する。頻出事項であるうえ、常識的にも判定できる。

空欄カは「労働力指向型」。直前に「東京圏に比べて人件費が安価」とあるから、九州は低賃金労働力の存在を要因とした立地であることがわかる。東京圏などでの立地を示す「市場指向型」が適当でないことも明らかである。半導体生産のうち、チップの切り出し・パッケージ収納・検品などでは人が行う作業が多く、労働集約的な工程となっている（ただし、近年は自動化が進んでいる）。

空欄キは「小さい」。半導体は小型・軽量であっても付加価値が高いため、運賃の高い航空機を利用しても、製品価格に対する輸送費の割合はごくわずかである。

問3 正解は③

4つの産業地域の特徴を述べた文章から、ドイツのルール（地方）に該当するものを選択する。明瞭な違いを持つ4地域であるから、4文とも判定してしまいたい。

ルールは③。ルール工業地域は、ルール炭田の資源とライン川の水運を結合して鉄

鋼業が発展し、(かつての) 重工業三角地帯の一角を占めるドイツ最大の工業地域である。しかし、エネルギー革命 (石炭から石油への転換)、資源の枯渇などから、炭田立地の優位性は消え、重工業の中心はライン川中下流部や臨海部へと移動した。また、ルール地方では、大気汚染や水質汚濁などの深刻な環境問題が発生していたため、早くから環境対策のための産業が生まれており、現在では環境関連産業の一大集積地となっている。

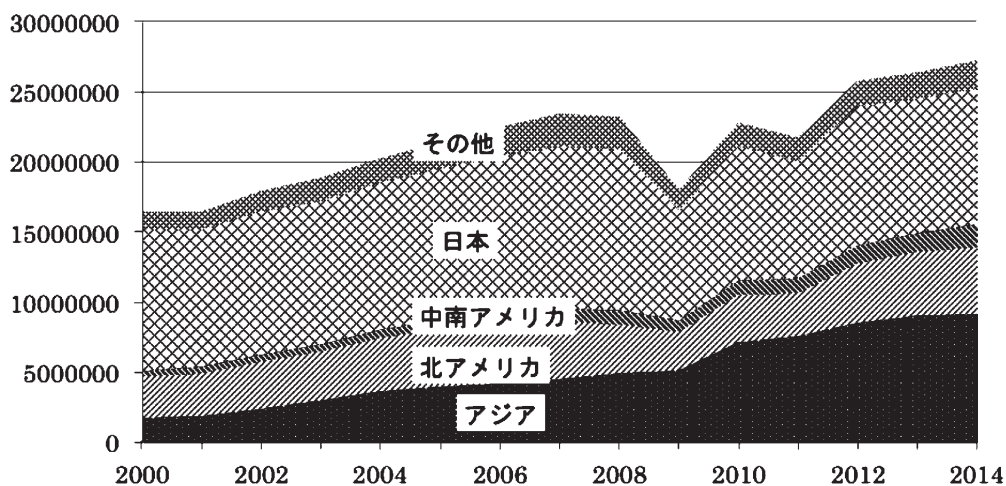
シリコンヴァレーは②。カリフォルニア州のスタンフォード大学などを拠点に、多くの半導体工場や IT 企業などが集積した地域である。

サードイタリー (第三のイタリア) は①。アパレル (服飾)・日用雑貨などでデザイン性を重視した高級品を生産する中小企業群を中核とする、イタリアの北東部～中部にかけての一角である。重工業地帯の北部や、工業化の遅れた南部に対してこう呼ばれる。

シンガポールは④。シンガポールをはじめとするアジア NIEs のように、発展途上国・地域は輸出加工区を設置することで輸出指向型の工業化を推進した。

問 4 10 正解は②

日本メーカーによる国・地域別の自動車生産台数を示すグラフから、アジア (日本を除く) に該当するものを選択する。他に比べ、アジアは比較的判定しやすい。



▲ 日本の自動車メーカーの生産台数 (図 3 の統計を台数の絶対値で描いた)

アジアは②。工業化の進展や経済成長を背景に、2000 年代を通じて生産台数が大きく伸びている。2008 年のリーマンショックによる世界金融危機に際し、日本を除くアジア諸国は先進国・地域ほど影響を受けなかったため、2009 年にかけて生産台数の割合が急増した。

日本は①。海外生産台数は世界金融危機後の数年を除いて増加している。これに対し、生産拠点の海外移転や国内市場の低迷によって、国内生産台数は停滞しており、その割合は低下を続けている。

北アメリカは③。日米貿易摩擦が深刻化した 1980 年代以降、日本メーカーの主要な進出先であった。

中央・南アメリカは④。割合は小さいが、メキシコなどで生産台数は増加している。

問 5 11 正解は①

科学技術の進展と農業の変化について述べた文章の正誤を判定する。

① 適当でない。遺伝子組み換え作物の導入は、耐農薬などの特性を利用して商品作物の企業的な大規模生産を可能にすることを目的としており、自給的農業には適さない。組み換え技術をリードしてきたアメリカ合衆国のほか、南アメリカのブラジルやアルゼンチンなどでも遺伝子組み換え大豆などの栽培面積が拡大している。

② 適当。アグリビジネスとは、農業関連産業のことである。

③ 適当。日本の販売農家のうち、6 割近くは副業的農家である。農業で生計を立てる主業農家に比べ、経営耕地面積が小さくなるのは当然である。

④ 適当。アルゼンチンやオーストラリア・ニュージーランドの畜産業は、冷凍船による輸送で北半球の市場に出荷することを条件に発展した。

問 6 12 正解は⑤

3 業種のサービス業と、その立地を示した統計地図との組み合わせを判定する。大都市圏への集積度が決め手となる。

情報関連サービス業はス。情報と、それを必要とする企業の中核管理機能が集積する東京に集中している。

道路貨物運送業はサ。貨物運送の需要が高い太平洋ベルトに沿って集中している。

農業関連サービス業はシ。農業のさかんな九州や東北・北海道などで割合が高く、需要の小さい東京などで割合が低い。

第 3 問 生活文化と都市

問 1 13 正解は②

ヨーロッパ 4 カ国の宗教・宗派別人口割合の統計表からドイツを判別する。やや判定しづらいが、4 カ国をすべて判定していくと絞りやすい。「外国籍の住民を含む」の注意書きも見逃さないようにしたい。

ドイツは②。ドイツを含むゲルマン系民族の居住する北西ヨーロッパには、おもに

プロテスタントが分布するが、ドイツの南部・西部にはカトリックの信者も多い。また、トルコをはじめとするイスラーム圏からの移民も多く居住している。

ギリシャは③。ギリシャ正教（東方正教のひとつ）の信者が多数を占める。

フランスは①。フランスを含むラテン系民族の居住する南ヨーロッパには、おもにカトリックが分布するが、北アフリカの旧植民地などからムスリム（イスラームの信者）移民を多く受け入れており、文化摩擦などの問題が生じている。

ポーランドは④。スラブ系民族の多い東ヨーロッパにはおもに東方正教が分布するが、「中欧」とも呼ばれるポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリーなどはカトリック圏となっている。

問2 14 正解は④

3つの地域名と、その伝統的な衣服を説明した文の組み合わせを判定する。教科書や図版資料集などに掲載された民族衣装の写真などを思い浮かべながら読解したい。もちろん、気候との関係も重要である。

東南アジアの熱帯地域はイ。高温多湿の気候に適した「放熱性や吸水性（汗を吸う）」の特徴から判断できる。ベトナムの民族衣装であるアオザイの説明となっている。

西アジアの乾燥地域はウ。「強い日差しから身を守る」という特徴が、砂漠の広がるこの地域に対応している。イスラーム圏の衣服として、緩やかな長衣と、頭にかぶるターバンやベール・チャドルなどが象徴的である。

南アメリカの高山地域はア。文中の貫頭衣は、アンデス地方に居住するインディオの民族服であるポンチョを示している。気温の日較差が大きい高山の気候に対応して着脱しやすい。高地草原で飼育されるリャマやアルパカの毛を利用した衣服である。

問3 15 正解は②

マレーシアの民族政策に関する文章の空欄補充における適語の組み合わせを選択する。頻出事項であり、失点を避けたい基本問題である。

空欄カは「ブミプトラ」。ブミプトラはマレー語で「土地の子」を意味し、先住民であり、おもに農村部に居住するマレー系住民を優遇する政策を示す。なお「ルックイースト政策」とは、マレーシアにおいて日本や韓国を手本に工業化を進める政策である。

空欄キは「中国」。かつてスズ鉱山労働力などとしてマレーシアに移住し「華僑」と呼ばれた中国系住民は、独自のネットワークを活かした商業・金融業などでの成功で経済的地位を確立した。現在では「華人」としておもに都市部に定住しているが、その経済力の大きさに対してマレー系住民の不満が大きい。

問4 16 正解は③

4 カ国の都市人口に関する統計グラフからバングラデシュを選択する。インドとの判別が決め手となる。

バングラデシュは③。発展途上国は一般的に農業人口の割合が高いので、都市人口率が低位となる。①と③に絞れるが、開発の遅れたバングラデシュでは首位都市である首都ダッカへの人口集中が激しい（総人口約1億6千万人中、約1700万人〔周辺人口含む〕＝2014年）ので、③を選ぶ。

イタリアは②。先進国のうち、伝統的な農業地域を含む国々の都市人口率はやや低くなる。イタリアの人口最大都市は首都のローマだが、重工業の発達した北部のミラノなどにも人口が分散しており、ローマの割合はそれほど高くない。

インドは①。広大な国土と約13億人の巨大人口を抱えるインドでは、人口が多くの大都市に分散している。人口最大都市は西岸のムンバイであるが、北部の首都デリー、南部のバンガロール、東岸のコルカタやチェンナイなど巨大都市の枚挙にいとまがない。ムンバイの人口規模はダッカと同程度（約1800万人〔周辺人口含む〕＝2011年）であるが、総人口に占める割合は当然小さくなる。

カナダは④。いわゆる「新大陸（南北アメリカ、オーストラリア）」では、先住民を駆逐したヨーロッパ系白人が都市を建設して集住した歴史から、都市人口率が極めて高くなる。カナダは人口密度が低く人口規模が小さいので、人口最大都市トロントの占める割合が極めて高い。

問5 17 正解は③

城下町に起源を持つ都市を示す概略図中の4地点について述べた文から、ある地点に該当するものを選択する。歴史的背景や交通機関との関係を中心に考えたい。なお、図2は滋賀県彦根市のものと考えられる。

地点Cは③。江戸時代の城下町区域から外れたJR・私鉄の駅前である。そのため、鉄道交通と結びついて発展したのは近代以降と考えられるが、モータリゼーションに対応できない駅前商店街は衰退し、一部は「シャッター通り」と化している。

地点Aは①。都市の中心部から外れ、交通の便も悪いため、商業の発達はみられないが、近年になってこの都市付近のベッドタウン化に伴い宅地開発が行われた。

地点Bは②。城跡を囲む外堀に接し、江戸時代の町人地に含まれる地点である。

地点Dは④。都市の中心部から外れているが、国道沿いであるため自動車利用を前提にした商業施設が立ち並ぶ。

問6 18 正解は④

日本の3つの市区の人口ピラミッドと、その市区の特徴を説明した文との組み合わせを判定する。常識的にも判断できるだろう。

サはY。郊外の住宅地では、大都市圏に通勤する親と、その子供からなる核家族世帯が典型的であり、30～40代および、15歳未満の割合が高い。

シはZ。大都市圏の外側にある農村地帯では、若年労働力の大都市圏への流出によって老年人口が取り残されており、人口構造が極端に高齢化する。

スはX。都心部は地価が高く、生活環境も良好ではないが、その利便性から20～30代の単身者の割合が高くなる。また、東京特別区部の場合、再開発によって高層集合住宅などの建設が進み、やや富裕な若年層を吸引して「人口の都心回帰」が生じている。

第4問 西アジアとその周辺地域**問1** 19 正解は④

西アジアの地図中4地域から、最も標高の高い地点を含むものを選択する。具体的な地名などが思い浮かばなくても、山脈等の分布から判断すればよい。

エは、新期造山帯であるアルプス＝ヒマラヤ造山帯の主軸をなす地点で、パミール高原の北にヒンドークシ山脈やカラコルム山脈が連なり「世界の屋根」と呼ばれる。

アは、安定陸塊であるアラブ楕状地に含まれる低平な地点である。

イは、ティグリス・ユーフラテス川の下流域に形成された沖積平野にあたるメソポタミア地方である。

ウは、エと同様にアルプス＝ヒマラヤ造山帯に属する地点で、ザグロス山脈やイラン高原があるが、エに比べれば標高は低い。

問2 20 正解は③

西アジアの地図中4地域について説明した文の正誤を判定する。この地域の農牧業については馴染みのない受験生が多いだろうが、基本的知識を活用したい。

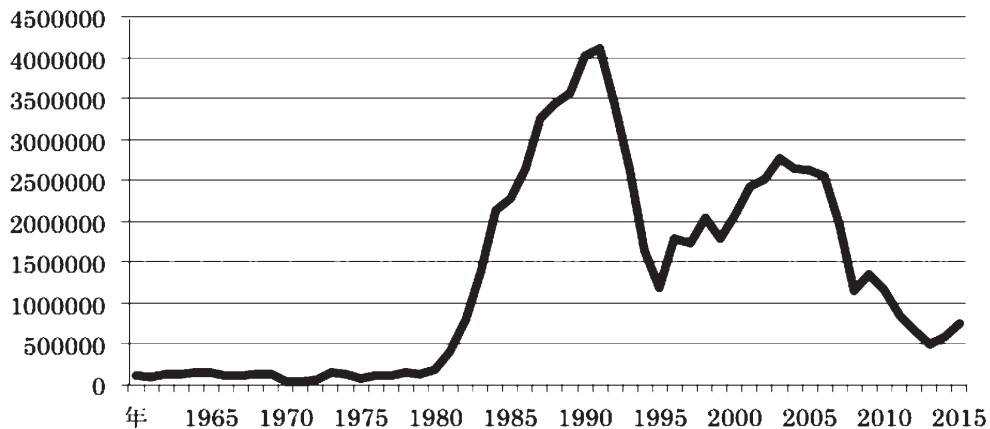
③適当でない。イランでは、地下水路カナートを利用したオアシス農業がみられる。蒸発量が多いため、ため池はあまり使われない。また、乾燥する西アジアではイエメンを除いて生育期に多雨を必要とするコーヒーの栽培はほとんど行われない。

①適当。トルコ西部は夏に乾燥する地中海性気候で、他の地中海沿岸地域と同様にオリーブが栽培される。

②適当。サウジアラビアは国土全体が砂漠気候であり農耕に適さないが、地下水を汲み上げて利用するセンターピボット農法により小麦などの生産を拡大させた。ただ

し、地下水の枯渇からこの農法は規制され、近年は生産量が減少している。

サウジアラビアの小麦生産量（トン）



④適当。アフガニスタンの国土の大半は高山で、寒冷な乾燥帯である。このため農耕には適さず、遊牧を中心とした牧畜業が中心である。

問3 21 正解は②

西アジア 4 カ国の宗教別人口割合のグラフからアラブ首長国連邦のものを選択する。「外国籍の住民を含む」という注意書きが重要である。

アラブ首長国連邦は②。ペルシア湾に面する小国で、周辺国と同様にスンナ派のムスリム（イスラーム信者）が大半を占める。しかし、先住のアラブ民族の人口はわずかである。莫大なオイルマネー（石油輸出による収入）を利用したドバイなどの都市建設がさかんだが、不足する労働力を補うため、東南アジア・南アジアなどからの出稼ぎ労働者を大量に受け入れている。そのため、フィリピン人に多いキリスト教や、インド人に多いヒンドゥー教の信者が含まれる。

イスラエルは④。ユダヤ教を信仰するユダヤ民族が 1948 年に建国した。

イランは①。シーア派のイスラーム国家であり、国教ともなっている。

レバノン③。キリスト教徒が多く、国内のムスリムと対立し 1975～90 年には内戦に発展した。

問4 22 正解は⑤

西アジア諸国の産業・経済に関する 3 指標について統計地図との組み合わせを判定する。カとキで迷った受験生も多いだろうが、雑に考えず慎重に判断したい。

GDP に占める農林水産業の割合はク。乾燥気候のために農林水産業がさかんでないアラビア半島に中位～低位の国が集中する。

人口 1 人当たり G N I はカ。サウジアラビアやアラブ首長国など、人口の少ない産油国では先進国並みに値が高くなる。イランは産油国だが、約 8000 万人の人口を抱える上、アメリカ合衆国による経済制裁もあって、1 人当たりの数値は低くなる。トルコは産油国ではないが、ヨーロッパ向けの輸出産業として工業化が進んでおり、中位の所得を示す。

輸出額に占める石油・石油製品の割合はキ。イランを含む産油国で数値が高い。

問 5 23 正解は①

西アジア 4 カ国における外国からの訪問者数と日本からの直行航空便数の統計表から、トルコを選択する。直航便の有無には国際政治上の理由なども影響するため、考えにくい難問である。

トルコは①。世界遺産のカップドキア（自然遺産と文化遺産の複合遺産）や歴史都市イスタンブールなど多くの観光地を有し、ヨーロッパに接する地理的条件を持つため、世界で 6 番目に観光客の多い観光国である（2015 年）。また、イスラーム圏ではあるが政教分離の世俗主義をとるため、先進諸国からの観光客にとって気軽な訪問先となっている。もちろん、日本からの航空便も多い。

イラクは④。湾岸戦争（1991 年）やイラク戦争（2003 年）などで政治・社会は混乱しており、IS（イスラミックステート）の活動や相次ぐテロ事件などで治安も悪く、外国からの訪問者はわずかであり、日本からの航空直行便も存在しない。

サウジアラビアは②。厳格なイスラーム国家であり、先進国の観光客にとって気軽な旅行先ではないが、イスラームの聖地メッカには世界中のムスリムが巡礼に訪れるため、訪問者数はトルコに次いで多い。

カタールは③。カタールの首都ドーハの空港は、アラブ首長国連邦のドバイと並ぶハブ空港であり、日本からヨーロッパに向かう観光客の乗り継ぎ（トランジット）地として直行便が多い。

問 6 24 正解は⑤

西アジア周辺の 3 カ国について、その国で発生した紛争について述べた文との組み合わせを判定する。X は国の位置から判断できるので、Y と Z の判別が決め手となる。

サは Z（アフガニスタン）。「イスラム原理主義組織」とはタリバーンである。2001 年の同時多発テロの首謀者とされたウサマ＝ビン＝ラディンをタリバーンがかくまったとして、アメリカ合衆国はその支配地域に空爆を中心とする攻撃をおこなった。

シは X（キプロス）。キプロスは南北に分裂しており、南部のギリシャ系国家は EU 加盟国となっている。

スは Y (クウェート)。「隣国」とは、フセイン政権時のイラクであり、「大規模な戦争」とは湾岸戦争である。その後、大量破壊兵器を隠し持っているという嫌疑によって、(実際には大量破壊兵器はなかったが) アメリカ軍が侵攻してフセイン政権は崩壊した (イラク戦争)。

第5問 北欧3カ国(ノルウェー、スウェーデン、フィンランド)の比較

問1 25 正解は⑥

北欧3カ国と、それらの同緯度における気温の年較差と国土の標高に関する資料の組み合わせを判定する。ヨーロッパの気候の特徴を理解していれば単純に判別可能である。

ノルウェーはウ、スウェーデンはイ、フィンランドはアである。

ヨーロッパでは、暖流の北大西洋海流の上を吹く偏西風の影響を受けて、高緯度地方でも比較的温暖となる。したがって、気温の年較差は、偏西風の影響で冬も暖かい大西洋岸側ほど小さく、熱し易く冷め易い内陸側ほど大きくなる。これだけでも判断可能だが、地形の特徴も確認しておこう。

ノルウェーは、スカンディナヴィア山脈の西側斜面に位置し、氷食を受けた沿岸部が溺れ谷となったフィヨルド地形が発達しており、標高 200 以下の面積割合はきわめて小さい。スウェーデンは、西部はスカンディナヴィア山脈東麓でやや高いが、東部はバルト海に面する低平な楕状地である。フィンランドは、大部分がバルト楕状地に位置する湖の多い低平な国土である。

問2 26 正解は⑤

北欧3カ国の発電エネルギー源の割合の統計グラフ中の、3つの凡例の組み合わせを判定する。ある程度の地誌の知識が前提となるので、徒手空拳では難しい。

火力はク。フィンランドはエネルギー資源に恵まれておらず、先述のように地形が平坦なため水力利用も他の2国に比べて少ないため、輸入した石炭・石油・天然ガスによる発電が中心となる。

原子力はカ。資源の乏しいスウェーデンやフィンランドで割合が高い。スウェーデンでは国民投票でいったん原発全廃を決定したものの、2010年に原発維持の方針に変更した。ただし、コストの高い原発から再生可能エネルギーへの転換が進んでいる。フィンランドでは安定陸塊の地層内に高レベル放射能廃棄物の処分施設(オンカロ処分場)を建設していることで知られる。

水力はキ。ノルウェーは、偏西風の影響で降水量が多く、地形の高低差が大きいため、水力発電がさかんである。北海油田での石油生産がさかんだが、大半は海外に輸出し

ている。

問3 27 正解は⑥

北欧3カ国の貿易統計について、国名の組み合わせを判定する。サとシの判別が決め手となるが、品目別割合だけでは難しいので輸出相手国を利用したい。

ノルウェーはス。先述のように石油、つまり「原材料と燃料」の割合が高い。

スウェーデンはシ。国境を接するス（ノルウェー）との貿易がさかんである。

フィンランドはサ。国境を接するシ（スウェーデン）やロシアとの貿易がさかんである。

問4 28 正解は②

ノルウェーとフィンランドについて、それぞれを舞台としたアニメーションと、それぞれの言語から、フィンランドに関するアニメーションと言語の組み合わせを選択する。日本のTVアニメーションを扱った本問は、出題当時に話題となったが、アニメーション自体の知識がなくても判断はできる。

フィンランドを舞台としたアニメーションはタ（ムーミン）。湖と森の国であるフィンランドの景観をモチーフとした妖精が主人公となっている。

ノルウェーを舞台としたアニメーションはチ（小さなバイキング ビッケ）。バイキング（ヴァイキング）とは、8世紀から11世紀にかけて今のノルウェーやデンマークに根拠を置いて海賊のように略奪をおこなった北方ゲルマン人（ノルマン人）の通称で、「入り江の民」を意味する。彼らの根拠地として、大西洋に面したフィヨルドの入り江が適していると連想すれば、タよりもチのほうを先に判定できるだろう。

フィンランド語はB。フィンランドの大多数が話すフィンランド語は、ハンガリー語などと同じウラル語族の言語であり、他のヨーロッパ言語とは大きく異なっている。

ノルウェー語はA。ノルウェー語はスウェーデン語・英語・ドイツ語などと同じインド＝ヨーロッパ語族のゲルマン語派に属している。したがって、問題に例示されたスウェーデン語と単語や文法が類似している。

ちなみに「ムーミン」シリーズの作者トーベ＝ヤンソンは、フィンランドの中では少数派のスウェーデン語話者であり、作品もスウェーデン語で書かれている。フィンランドでは、フィンランド語だけでなくスウェーデン語も公用語としている。

問5 29 正解は②

OECD加盟国の租税負担率や公的社会支出の割合の統計グラフから、北欧3カ国が属する象限を選択する。北欧の人口問題に関連して、これらの国の福祉に関する基

本的な学習をしていれば容易に判断できよう。

3カ国が属する象限は、いずれの数値も高位となる②である。北欧諸国は、先進国の中では合計特殊出生率が比較的高いが、この背景には保育施設の整備・育児休業制度などの充実があるとされる。このような先進的な社会保障制度を確立するために「GDPに対する公的社会支出の割合」は高くなるが、これを支える国民負担は重く、「GNIに対する租税負担率」も高いのである。このような状況をひと言で言えば「高福祉高負担」ということになる。

第6問 地域調査（岐阜県高山市）

問1 正解は⑥

中部地方の3都市と、それらの気温の年較差や冬季の日照時間の資料について、組み合わせを判定する。日本の気候について、ごく基本的な理解で対処可能である。

高山市はウ。内陸の気候は、熱し易く冷め易い岩石の影響を強く受けて気温の年較差が大きくなる。

富山市はイ。日本海側の気候の特徴は、北西季節風の影響で冬季に降雪が多いことである。したがって、空が雪雲におおわれる冬季の日照時間が短い。

浜松市はア。海に面しており、熱しにくく冷めにくい水の影響から気温の年較差は小さい。また、日本海側で雪を落とした北西季節風が、乾燥した風として吹き下す冬季の日照時間は長くなる。

問2 正解は③

高山市の人口に関する3種類の主題図について述べた文章中の下線部の正誤を判定する。丁寧に読んでいけば難しくはない。

③適当でない。中心部に当たる旧高山市は、「老年人口割合」「平均世帯人数」が共に低位であることから、高齢者を含む三世帯世帯などは少なく、核家族世帯や単身世帯の割合が高いことが推定される。

①適当。標高段彩図と「人口密度」の図をみると、中心部は周りを山地に囲まれた盆地に位置しており、その人口密度が高いことがわかる。

②適当。「老年人口割合」の図から明らかである。

④適当。山間部で特に深刻な過疎化と高齢化の影響である。

問3 正解は④

高山市の農業に関する会話文中の空欄補充について、適語の組み合わせを選択する。空欄からやや離れた部分もしっかり読めば、文脈の読解だけで正解可能である。

空欄カは「城内」。直前の職員のセリフに「現在は大都市圏を中心に出荷されていますが、交通網の整備される以前には、近郊の農家にとって朝市は・・・」とあり、イズミさんのセリフの空欄直前にも「当時は、大都市から離れていたことが・・・」とある。「当時」は交通網の整備される前のことだから、遠く離れた大都市には出荷できずに、朝市などを通して地元、つまり城内で消費されていたのである。

空欄キは「松本」。2つ前の職員のセリフに「標高 1000m を超える山脈の峠を越え、海の魚を食べることが困難な地域に」運ばれていたとある。つまり、高山から飛騨山脈の峠を越えた内陸の盆地に位置する松本に運ばれたことがわかる。

問4 33 正解は④

高山市の地形図をみて、地域の歴史的な特徴について説明した文の正誤を判定する。結果的には単純な地図記号の知識の確認にすぎない。

④ 適当でない。「苔川」と並行して着色された道路 (= 国道) が走っているが、その沿線の「岡本町一丁目」付近には、神社 (㊦) や郵便局 (㊤) は存在するものの、工業団地はおろか工場 (⚙) もみられない。なお、「上岡本町七丁目」付近に並ぶ記号 (㊦) は国や地方の役所を示す「官公署」である。

① 適当。丁字路やカギ型道路は、城下町の一般的な特徴である。

② 適当。「宮川」の「七日町一丁目」付近をみると、上向きの矢印が描かれている。これは河川の流水方向を示しており、地図は上が北であるから南から北へ流れていることがわかる。

③ 適当。「吹屋町」の東に寺院 (㊦) の集まる地域があり、「天性寺町」や「宗猷寺町」などの寺院名に由来する地名が読み取れる。

問5 34 正解は②

高山市の観光統計に関する文章中の下線部の正誤を判定する。文章の下線部以外の部分に重要な情報が含まれており、焦って読み落とすと正誤を判断できなくなる。

② 適当でない。文中の下線部の直前の情報から、2015 年における岐阜県全体の観光客数に占める日帰り客数の割合は

$$3731 \div (3731 + 629) = 0.855\dots$$

となり、約 86% である。これに対し、同年の高山市の観光客数に占める日帰り客数の割合は (グラフから概数で読み取ると)

$$210 \div 340 = 0.617\dots$$

で約 62% である。つまり、高山市では「宿泊しないで日帰りする」= 「通過型」の

観光客の割合が全県よりも低いのである。逆にみると、全県では14%程度に過ぎない「宿泊する」＝「滞在型」の観光客の割合が、高山市では38%にのぼる。したがって、図4だけを見ると、日帰り客が宿泊客を上回っており通過型のように思えるが、県内市町村の中で相対的に判断すれば滞在型観光地であることがわかる。

①適当。もし観光地としての魅力が低下すれば、交通条件が良くても訪問者が減るのは当然であろう。

③適当。図4から2015年の宿泊客は約130万人であるから、その2割とは、
 $130 \text{ 万} \times 0.2 = 26 \text{ 万 (人)}$

であり、表2における高山市の外国人旅行者数のデータ(26.8万人)とほぼ一致している。

④適当。表2の「地域別割合」の数値から明らかである。

問6 35 正解は②

乗鞍岳の3つの植生帯と、各植生帯の植生を撮影した写真との組み合わせを判別する。植生帯が標高によってどのように違うのかを理解しておく必要がある。単純化すると、気温の高い(標高の低い)方から気温の低い(標高の高い)ほうに向かって、
 常緑広葉樹 → 落葉広葉樹 → 針葉樹
 のように並ぶ。

高山帯はA。低温で冬には雪に覆われる厳しい高山の環境のもとでは植生が乏しく、ハイマツのような針葉樹の低木しかみられない。

亜高山帯はC。高山帯に次いで気温が低いため、亜寒帯(冷帯)と同様にトウヒなどの常緑針葉樹が中心の植物相を示す。写真から樹種までは判別できないが、樹形から針葉樹林であることは読み取りたい。

山地帯はB。山地帯には、ブナ・ナラ・ケヤキ・カエデなどの落葉広葉樹が分布する。